



レイヤ3EVPN およびレイヤ3VPN

この章では、レイヤ3EVPNを設定するタスクと、L3EVPNおよびL3VPNルータのスティッチングについて説明します。構成を完了するには、次の作業を実行します。

- ・インポートおよびエクスポートルール用のVRFおよびルートターゲットの設定（1ページ）
- ・BGP EVPNおよびラベル割り当てモードの設定（2ページ）
- ・BGP レイヤ3EVPNおよびレイヤ3VPNスティッチングの構成（5ページ）
- ・レイヤ3EVPNおよびレイヤ3VPNを有効にする機能の設定（8ページ）
- ・セグメントルーティングを介したBGP L3 VPNの構成（9ページ）
- ・SRTE経由BGP レイヤ3VPN（10ページ）
- ・SRTEを介したレイヤ3VPNの構成に関する注意事項と制限事項（11ページ）
- ・拡張コミュニティカラーの構成（11ページ）

インポートおよびエクスポートルール用のVRFおよびルートターゲットの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ2	vrf <i>vrf-name</i>	VPNルーティングおよび転送(VRF)インスタンスを定義し、VRFコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ3	rd auto	一意のルート識別子(RD)をVRFに自動的に割り当てます。

BGP EVPN およびラベル割り当てモードの設定

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	address-family { ipv4 ipv6 } unicast	VRF インスタンス用に IPv4 または IPv6 アドレス ファミリを指定し、アドレス ファミリ コンフィギュレーション サブ モードを開始します。
ステップ5	route-target import route-target-id	一致するルートターゲット値を持つ、L3 VPN BGP NLRI から VRF へのルート のインポートを設定します。
ステップ6	route-target export route-target-id	VRF から L3VPN BGP NLRI へのルート のエクスポートを設定し、指定された ルートターゲット識別子を L3VPN BGP NLRI に割り当てます。
ステップ7	route-target import route-target-id evpn	一致するルートターゲット値を持つ L3 EVPN BGP NLRI からのルートのイン ポートを設定します。
ステップ8	route-target export route-target-id evpn	VRF から L3 EVPN BGP NLRI へのルー トのエクスポートを設定し、指定された ルートターゲット識別子を BGP EVPN NLRI に割り当てます。

BGP EVPN およびラベル割り当てモードの設定

encapsulation mpls コマンドを使用して MPLS トンネル カプセル化を使用できます。EVPN アドレス ファミリのラベル割り当てモードを設定できます。NX-OS の IP ルート タイプの EVPN でのデフォルトのトンネル カプセル化は VXLAN です。

BGP EVPN を介した Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチからの (IP またはラベル) バインディ ングのアドバタイズにより、リモート スイッチはルーティングされたトラフィックをその IP に送信できます。その際、MPLS を介して IP をアドバタイズしたスイッチへの IP のラベルを 使用します。

IP プレフィックス ルート (タイプ 5) は次のとおりです。

- MPLS カプセル化によるタイプ 5 ルート

```
RT-5 Route - IP Prefix
RD: L3 RD
IP Length: prefix length
IP address: IP (4 bytes)
Label1: BGP MPLS Label
Route Target
RT for IP-VRF
```

デフォルトのラベル割り当てモードは、MPLS 上のレイヤ3 EVPN の VRF 単位です。

BGP EVPN とラベル割り当てモードを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

install feature-set mpls コマンドと **feature-set mpls** コマンドを使用して、MPLS 機能セットをインストールして有効にする必要があります。

MPLS セグメントルーティング機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します
ステップ2	[no] router bgp <i>autonomous-system-number</i> 例： <pre>switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)# </pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数でできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ3	必須: address-family l2vpn evpn 例： <pre>switch(config-router)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-af)# </pre>	レイヤ2 VPN EVPN のグローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ4	必須: exit 例： <pre>switch(config-router-af)# exit switch(config-router)# </pre>	グローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ5	neighbor <i>ipv4-address remote-as</i> <i>autonomous-system-number</i> 例： <pre>switch(config-router)# neighbor 10.1.1.1 remote-as 64497 switch(config-router-neighbor)# </pre>	リモート BGP ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。

■ BGP EVPN およびラベル割り当てモードの設定

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ6	address-family l2vpn evpn 例： <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	ラベル付きのレイヤ2 VPN EVPN をアドバタイズします。
ステップ7	encapsulation mpls 例： <pre>router bgp 100 address-family l2vpn evpn neighbor NVE2 remote-as 100 address-family l2vpn evpn send-community extended encapsulation mpls vrf foo address-family ipv4 unicast advertise l2vpn evpn</pre> BGP セグメントルーティング設定： <pre>router bgp 100 address-family ipv4 unicast network 200.0.0.1/32 route-map label_index_pol_100 network 192.168.5.1/32 route-map label_index_pol_101 network 101.0.0.0/24 route-map label_index_pol_103 allocate-label all neighbor 192.168.5.6 remote-as 20 address-family ipv4 labeled-unicast send-community extended</pre>	BGP EVPN アドレスファミリを有効にし、EVPN タイプ5ルートアップデートをネイバーに送信します。 (注) NX-OS の IP ルートタイプの EVPN でのデフォルトのトンネルカプセル化は VXLAN です。これをオーバーライドするために、MPLS トンネルのカプセル化を示す新しい CLI が導入されています。
ステップ8	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ9	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバル アドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ10	advertise l2vpn evpn	レイヤ2 VPN EVPN をアドバタイズします。
ステップ11	redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP	直接接続されたルートを BGP-EVPN に再配布します。
ステップ12	label-allocation-mode per-vrf	ラベル割り当てモードを VRF 単位に設定します。プレフィックス単位のラベルモードを設定する場合は、 no

	コマンドまたはアクション	目的
		label-allocation-mode per-vrf CLI コマンドを使用します。 EVPN アドレス ファミリの場合、デフォルトのラベル割り当てはVRF単位です。一方、ラベル割り当て CLI がサポートされている他のアドレス ファミリではプレフィックス単位モードです。実行コンフィギュレーションでは、CLI の no 形式は表示されません。

例

プレフィックス単位のラベル割り当ての設定については、次の例を参照してください。

```
router bgp 65000
  [address-family l2vpn evpn]
    neighbor 10.1.1.1
      remote-as 100
      address-family l2vpn evpn
      send-community extended
    neighbor 20.1.1.1
      remote-as 65000
      address-family l2vpn evpn
      encapsulation mpls
      send-community extended
  vrf customer1
    address-family ipv4 unicast
      advertise l2vpn evpn
      redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP
      no label-allocation-mode per-vrf
```

BGP レイヤ3EVPN およびレイヤ3VPN スティッチングの構成

同じルーターでスティッチングを構成するには、レイヤー3 VPN ネイバー関係とルーターアドバタイズメントを構成します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します

BGP レイヤ3EVPN およびレイヤ3VPN スティッチングの構成

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ2	<p>[no] router bgp <i>autonomous-system-number</i></p> <p>例 :</p> <pre>switch# configure terminal switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)#+</pre>	<p>BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数でできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。</p> <p>BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。</p>
ステップ3	<p>address-family {vpnv4 vpng6} unicast</p> <p>例 :</p> <pre>switch(config-router)#+ address-family vpng4 unicast switch(config-router-af)#+ address-family vpng6 unicast switch(config-router-af)#+</pre>	レイヤ3 VPNv4 または VPNG6 に対するグローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ4	<p>exit</p> <p>例 :</p> <pre>switch(config-router-af)#+ exit switch(config-router)#+</pre>	グローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ5	<p>neighbor <i>ipv4-address remote-as</i> <i>autonomous-system-number</i></p> <p>例 :</p> <pre>switch(config-router)#+ neighbor 20.1.1.1 remote-as 64498</pre>	リモート BGP L3VPN ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ6	<p>address-family {vpnv4 vpng6} unicast</p> <p>例 :</p> <pre>switch(config-router)#+ address-family vpng4 unicast switch(config-router-af)#+ address-family vpng6 unicast switch(config-router-af)#+</pre>	VPNG4 または VPNG6 のアドレスファミリのネイバーを設定します。
ステップ7	<p>send-community extended</p>	BGP VPN アドレスファミリを有効にします
ステップ8	<p>import l2vpn evpn reoriginate</p>	標準のルートターゲット識別子と一致するルートターゲット識別子を持つレイヤ3BGP EVPN NLRIからのルーティング情報のインポートを設定し、このルーティング情報を、スティッチングルートターゲット識別子に割り当てる

	コマンドまたはアクション	目的
		再発信の後に、BGP EVPN ネイバーへエクスポートします。
ステップ9	neighbor <i>ipv4-address</i> remote-as <i>autonomous-system-number</i> 例： <pre>switch(config-router)# neighbor 10.1.1.1 remote-as 64497 switch(config-router-neighbor)#[/pre]</pre>	リモート レイヤ3EVPN BGP ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ10	address-family {l2vpn evpn} 例： <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-neighbor-af)#[/pre]</pre>	レイヤ3EVPN のネイバー アドレス ファミリを設定します。
ステップ11	import vpn unicast reoriginate	スティッチングルートターゲット識別子と一致するルートターゲット識別子を持つBGP EVPN NLRIからのルーティング情報のインポートを有効にし、この再発信後のルーティング情報をレイヤ3VPN BGP ネイバーにエクスポートします。
ステップ12	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ13	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバル アドレス ファミリ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ14	advertise l2vpn evpn	レイヤ2 VPN EVPN をアドバタイズします。

例

```
vrf context Customer1
  rd auto
  address-family ipv4 unicast
    route-target import 100:100
    route-target export 100:100
    route-target import 100:100 evpn
    route-target export 100:100 evpn

  segment-routing
    mpls
      global-block 11000 20000
      connected-prefix-sid
        address-family ipv4 unicast
          200.0.0.1 index 101
!
```

■ レイヤー3EVPN およびレイヤー3VPN を有効にする機能の設定

```

int lo1
    ip address 200.0.0.1/32
!
interface e1/13
    description "MPLS interface towards Core"
    ip address 192.168.5.1/24
    mpls ip forwarding
    no shut

router bgp 100
address-family ipv4 unicast
allocate-label all
address-family ipv6 unicast
address-family l2vpn evpn
address-family vpnv4 unicast
address-family vpnv6 unicast
neighbor 10.0.0.1 remote-as 200
    update-source loopback1
    address-family vpnv4 unicast
        send-community extended
        import l2vpn evpn reoriginate
    address-family vpnv6 unicast
        import l2vpn evpn reoriginate
        send-community extended
neighbor 20.0.0.1 remote-as 300
    address-family l2vpn evpn
        send-community extended
        import vpn unicast reoriginate
        encapsulation mpls
neighbor 192.168.5.6 remote-as 300
    address-family ipv4 labeled-unicast
vrf Customer1
    address-family ipv4 unicast
        advertise l2vpn evpn
    address-family ipv6 unicast
        advertise l2vpn evpn

```

レイヤー3EVPN およびレイヤー3VPN を有効にする機能の設定

始める前に

VPN ファブリック ライセンスをインストールします。

feature interface-vlan コマンドが有効になっていることを確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	feature bgp	BGP 機能と構成を有効にします。
ステップ2	install feature-set mpls	MPLS 構成コマンドを有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	feature-set mpls	MPLS 構成コマンドを有効にします。
ステップ4	feature mpls segment-routing	セグメントルーティング構成コマンドを有効にします。
ステップ5	feature mpls evpn	EVPN over MPLS 構成コマンドを有効にします。このコマンドは feature-nv CLI コマンドとは相互に排他的です。
ステップ6	feature mpls l3vpn	EVPN over MPLS 構成コマンドを有効にします。このコマンドは feature-nv CLI コマンドとは相互に排他的です。

セグメントルーティングを介したBGP L3 VPN の構成

始める前に

install feature-set mpls コマンドと **feature-set mpls** コマンドを使用して、MPLS 機能セットをインストールして有効にする必要があります。

MPLS セグメントルーティング機能を有効にする必要があります。

feature mpls l3vpn コマンドを使用して、MPLS L3 VPN 機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します
ステップ2	[no] router bgp <i>autonomous-system-number</i> 例： <pre>switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)#{</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	address-family {vpnv4 vpng6} unicast 例： <pre>switch(config-router)# address-family vpng4 unicast switch(config-router-af)# address-family vpng6 unicast switch(config-router-af)# </pre>	レイヤ3 VPNv4 または VPNv6 に対するグローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ4	[no] allocate-label option-b	AS 間オプション b を無効にします
ステップ5	必須: exit 例： <pre>switch(config-router-af)# exit switch(config-router)# </pre>	グローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ6	neighbor <i>ipv4-address remote-as autonomous-system-number</i> 例： <pre>switch(config-router)# neighbor 20.1.1.1 remote-as 64498 switch(config-router-neighbor)# </pre>	リモート BGP L3VPN ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ7	address-family {vpnv4 vpng6 } unicast 例： <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family vpng4 unicast switch(config-router-neighbor-af)# </pre>	VPNV4 または VPGN6 のアドレスファミリのネイバーを設定します。
ステップ8	send-community extended	BGP VPN アドレスファミリを有効にします。
ステップ9	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ10	allocate-index x	割り当てインデックスを設定します。
ステップ11	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレスファミリに対応するグローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ12	redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP	直接接続されたルートを BGP-L3VPN に再配布します。

SRTE 経由 BGP レイヤ3 VPN

この機能により、データセンター相互接続 (DCI) /WAN エッジ展開のセグメントルーティング コアに対するトラフィック エンジニアリング機能が有効になります。DCI ハンドオフ (SR

に基づき VxLAN から L3VPN へ、またはその逆) を可能にし、SR コアで SRTE 機能を使用できるため、さまざまなトラフィック クラスによって SLA を達成できます。SRTE 機能は、L3VPN プレフィックスに SR-Policy を適用することにより、DCI またはエッジルータに適用できます。L3VPN プレフィックスは、拡張コミュニティ カラーを設定した後 (DCI またはエッジノードによって) アドバタイズでき、BGP L3VPN ネイバーは、そのカラーに基づいて SR ポリシーを適用して SRTE を作成できます。以下に、L3VPN プレフィックスで拡張コミュニティ カラーを構成するための構成を示します。

SRTEを介したレイヤ3VPNの構成に関する注意事項と制限事項

Cisco NX-OS リリース 10.1(2) 以降、セグメントルーティング トラフィック エンジニアリング は、Cisco Nexus 9300-FX3、N9K-C9316D-GX、N9K-C93180YC-FX、および N9K-C93240YC-FX2 プラットフォーム スイッチ上でレイヤ3 VPN を介してサポートされます。

この機能の制限は次のとおりです。

- アンダーレイ IPv6 はサポートされません。SRv6 は代替です。
- BGP の専用ファブリックにおける PCE の欠点のため、BGP アンダーレイを使用した PCE はサポートされていません。
- NXOS が BGP-LS で LSA をアドバタイズできないため、PCE を使用した OSPF-SRTE はサポートされていません。
- 合計 1000 の SRTE ポリシー スケール、BGP VPNv4 32K ルート、BGP VPKM 32k ルート、および 1000 のアンダーレイ SR プレフィックスをサポートします。

Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、カラー専用 (CO) ビットのオプションがルートマップに追加されています。SRTE ポリシーを使用している特定のプレフィックスの CO ビットの値が変更された場合、BGP は古いポリシーを削除し、新しいポリシーを追加します。

拡張コミュニティ カラーの構成

このセクションは、次のトピックで構成されています。

入力ノードにおける拡張コミュニティ カラーの構成

SRTE ポリシーがインスタンス化される入力ノードによってプレフィックスが通知されるときに、入力ノードで拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

■ 入力ノードにおける拡張コミュニティ カラーの構成

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	route-map map-name 例： <pre>switch(config)# route-map ABC switch(config-route-map)</pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	set extcommunity color color-num 例： <pre>switch(config-route-map)# set extcommunity color 20 switch(config-route-map) #</pre>	カラー拡張コミュニティの BGP 外部 コミュニティ属性を設定します。
ステップ4	exit 例： <pre>switch(config-route-map)# exit switch(config) #</pre>	ルート マップ設定モードを終了します。
ステップ5	[no] router bgp autonomous-system-number 例： <pre>switch(config)# router bgp1 switch(config-router) #</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は16ビット整数または32ビット整数にできます。上位16ビット10進数と下位16ビット10進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ6	neighbor ip-address 例： <pre>switch(config-router)# neighbor 209.165.201.1 switch(config-router-neighbor) #</pre>	BGP ネイバーテーブルまたはマルチプロトコル BGP ネイバーテーブルにエントリを追加します。ip-address引数には、ドット付き10進表記でネイバーのIPアドレスを指定します。
ステップ7	address-family vpng4/vpng6 unicast 例： <pre>switch(config-router-neighbor) # address-family vpng4/vpng6 unicast switch(config-router-neighbor-af) #</pre>	vpng4/vpng6 アドレスファミリタイプのルータ アドレスファミリ構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ8	route-map map-name in 例： <pre>switch(config-router-neighbor-af)# route-map ABC in switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	構成された BGP ポリシーを受信ルートに適用します。 マップ名には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

出力ノードでの拡張コミュニティ カラーの構成

プレフィックスが出力ノードによって通知されるときに、出力ノードで拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)# </pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	route-map map-name 例： <pre>switch(config)# route-map ABC switch(config-route-map)# </pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	set extcommunity color color-num 例： <pre>switch(config-route-map)# set extcommunity color 20 switch(config-route-map)# </pre>	カラー拡張コミュニティの BGP 外部 コミュニティ属性を設定します。
ステップ4	exit 例： <pre>switch(config-route-map)# exit switch(config)# </pre>	ルート マップ設定 モードを終了します。
ステップ5	[no] router bgp autonomous-system-number 例： <pre>switch(config)# router bgp1 switch(config-router)# </pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数でできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。

出力ノードでのネットワーク/再配布コマンドの拡張コミュニティカラー構成

	コマンドまたはアクション	目的
		BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ6	neighbor ip-address 例： <pre>switch(config-router)# neighbor 209.165.201.1 switch(config-router-neighbor)#{/pre></pre>	BGP ネイバー テーブルまたはマルチプロトコル BGP ネイバー テーブルにエンティリを追加します。ip-address引数には、ドット付き 10 進表記でネイバーの IP アドレスを指定します。
ステップ7	address-family vpng4/vpng6 unicast 例： <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family vpng4/vpng6 unicast switch(config-router-neighbor-af)#{/pre></pre>	vpng4/vpng6 アドレスファミリ タイプのルータ アドレスファミリ構成モードを開始します。
ステップ8	route-map map-name out 例： <pre>switch(config-router-neighbor-af)# route-map ABC out switch(config-router-neighbor-af)#{/pre></pre>	発信ルートに設定された BGP ポリシーを適用します。 マップ名には最大63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

出力ノードでのネットワーク/再配布コマンドの拡張コミュニティカラー構成

プレフィックスが出力ノードによって通知されるときに、出力ノードで network/redistribute コマンドの拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#{/pre></pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	route-map map-name 例： <pre>switch(config)# route-map ABC switch(config-route-map)#{/pre></pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	set extcommunity color color-num 例： <pre>switch(config-route-map)# set extcommunity color 20 switch(config-route-map)#+</pre>	カラー拡張コミュニティのBGP外部コミュニティ属性を設定します。
ステップ4	exit 例： <pre>switch(config-route-map)# exit switch(config)#+</pre>	ルートマップ設定モードを終了します。
ステップ5	[no] router bgp autonomous-system-number 例： <pre>switch(config)#+ router bgp1; switch(config-router)#+</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数になります。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ6	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ7	address-family ipv4 unicast 例： <pre>switch(config-router-vrf)#+ address-family ipv4 unicast switch(config-router-af)#+</pre>	VRF インスタンスの IPv4 アドレスファミリを指定し、アドレス ファミリ構成モードを開始します。
ステップ8	redistribute static route-map map-name out 例： <pre>switch(config-router-vrf-af)#+ redistribute static route-map ABC switch(config-router-af)#+</pre>	スタティック ルートを BGP に再配布します。マップ-名には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
ステップ9	network ip-prefix [route-map map-name] 例： <pre>switch(config-router-vrf-af)#+ network 1.1.1.1/32 route-map ABC switch(config-router-af-network)#+</pre>	ネットワークを、この自律システムに対してローカルに設定し、BGP ルーティングテーブルに追加します。

■ 出力ノードでのネットワーク/再配布コマンドの拡張コミュニティカラー構成

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。